

VW/AUDI 9907

SRS 付車専用取説

装着前に必ずお読み下さい。

- ・理論上、運転席エアバック(以下:SRS)を取り外しても、警告灯が消灯されていればハンドル以外のエアバッグは作動するはずですが、完全な作動は保証出来ません。
- ・運転席 SRS を取り外すことにより、任意保険の契約内容の変更の手続きが必要になる場合があります。ご加入の保険会社にお問い合わせください。
- ・純正ステアリングにホーン以外のスイッチ類が装備されている車種は、その機能が使用出来なくなります。本体側で操作して下さい。
- ・本製品は 2 ピース構造になっており、上部(アッパー)と下部(本体)はボルトで工場出荷時に規定のトルクで締め付けてあります。絶対に緩めないで下さい。
- ・稀に車両の電気的特性により、SRS警告灯が消灯できない場合があります。ご了承下さい。
- ・純正ハンドルの取り外しについては各自動車メーカーの整備指示書(解説書)に従って作業して下さい。本書での取り外しはあくまでも参考程度にしてください。
- ・バッテリー端子を取り外すことによりオーディオやパワーウィンドウが初期化されます。復元方法は事前にお調べください。
- ・ステアリングは重要保安部品に該当しますので、しかるべき知識、技術をお持ちの専門店へ作業を依頼してください。

装着手順(本書に使用している写真は NEW、BETTLE ですが GOLF4/AUDI(A3)も同様です。)

1、作業開始準備

装着前にタイヤとステアリングホイールを直進状態にして下さい。

2、バッテリー端子の取り外し

バッテリーのマイナス端子を外して下さい。

作業が完全に終わるまで絶対に端子を接続しないで下さい。

3、SRS 本体の取り外し(AUDI A3 の場合)



純正ステアリングホイールの裏側2ヶ所の穴からトルクスレンチ(T30)を使用してボルトを緩めて下さい。

(終了後、NO,4へ進んで下さい。)

3、SRS 本体の取り外し(VW の場合)



ステアリングコラム下のテレスコピック及びチルトレバーを調整してステアリングを一番手前の一番下にセットして下さい。

(次ページに続く)

3-②VW の場合の続き

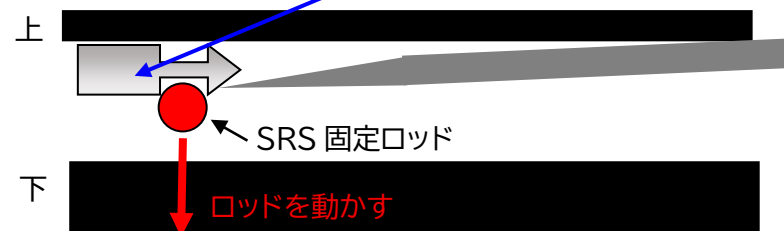
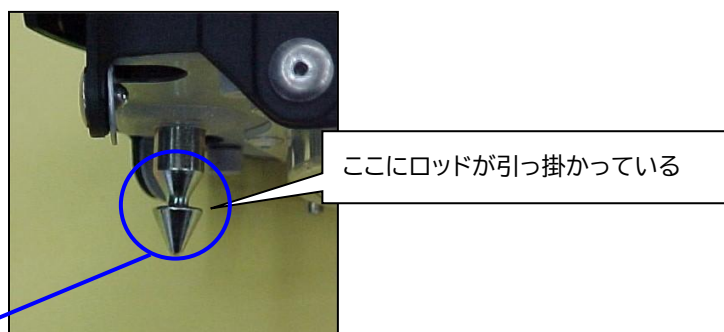
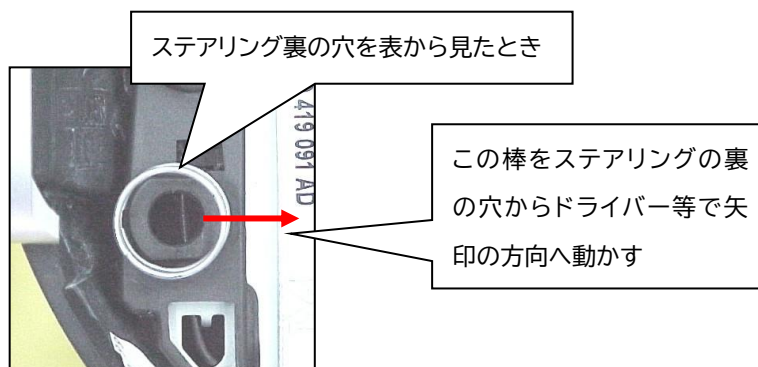
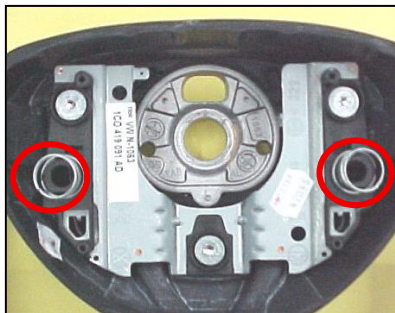


ステアリングを左右どちらかに 90°切り、ステアリングの裏側の穴へ細いマイナスドライバーを差し込み、上方向(赤矢印)へカバーが変形するまで引き上げて下さい。

SRS ユニットはスプリングの力で手前方向(青矢印)へ浮き上がります。片側が外れたらステアリングを逆に 90 度切り、同じ要領で反対側も外して下さい。

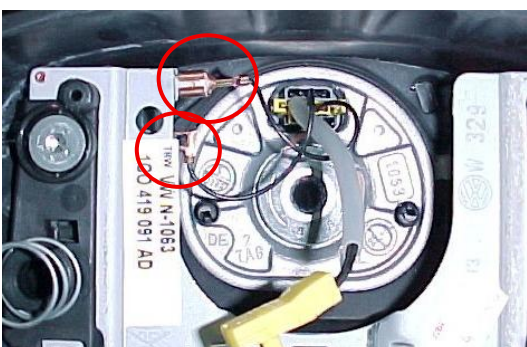
※一周回さず必ず切った方向から戻して反対側 90 度に切して下さい。

SRS 固定原理



ドライバーの先端をロッドに引っ掛け、ロッドを支点に下側へ、ドライバーを上側に引き上げるイメージ

4. SRS とホーン配線の取り外し



ステアリングを直進状態に戻し、SRS本体裏側のSRSコネクタを外して下さい。

取り外したSRS本体には絶対に電気を流さないで下さい。(テスター等も含む)

ホーン配線のギボシを2か所外して下さい。

小さい平端子がプラス線です。

5、ステアリングの取り外し



車両の整備指示書を参考にステアリングを取り外します。
ステアリングを完全に外す前にシャフトの先端などにトップの目印をつけておくと、ボスを装着する際にわかりやすくなります。
この時車体側スパイラルケーブルは絶対に回さないで下さい、左右の回転数が決まっていますので、回転させてからボスを取り付けると中の配線を切断します。
(写真は別の車種です。)

6、ボスの取り付け

ボスのTOPマーク(・)を12時方向にし、配線類をボスの中に引き込みつつ 5 で印を付けた角度に合わせてシャフトに挿入します。

取り付けする社外ステアリングをボ스에仮止めし、タイヤとステアリングのセンターが合っているか確認してください。

取り付け角度に問題が無ければステアリングを一旦外し、純正センターボルトを仮止めします。

※シャフトの1山以下の調整はできません。ステアリングセンターが出ない場合はタイロッドの調整でセンターを出してください。

このとき、ボスカバーが干渉するときには一度ステアリングホイールを外して、ボスカバーをボスから外してカッター等で適切な長さに切ってください。

注:この時怪我には十分ご注意ください。

7、SRS 配線の処理



付属のエアバッグキャンセラーをSRSコネクターの2ヶ所の穴に挿入してビニールテープ等で外れない様に固定して下さい。キャンセラーに極性はありません。

注:SRS警告灯の消灯を100%保証しているわけではありません。車両の個体差で消灯できない、もしくは時間が経ってから点灯してしまう場合が稀にあります。ご了承ください。

8、ホーン配線の接続

使用するステアリングやホーンボタンによって配線の接続方法が変わります。

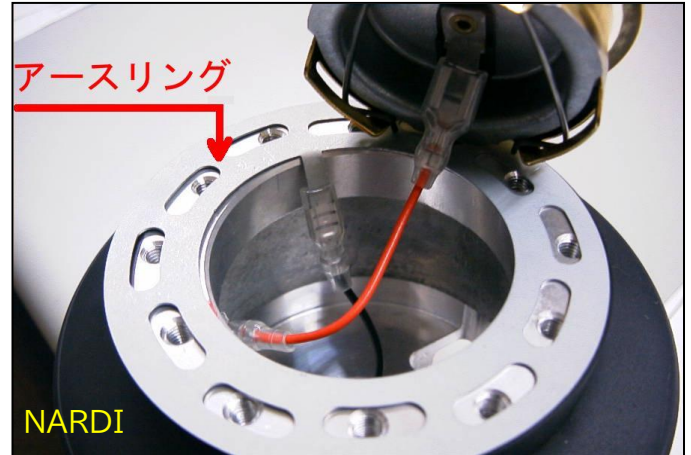
- ・ホーンボタン裏の端子が1極の場合は車両側から出ているアース線に付属の変換配線を使用してアースリングに接続します。プラス線にも付属の赤配線を接続します。
- ・ホーンボタン裏の端子が2極の場合は車両側から出ているアース配線をそのままホーンボタンに接続しますのでアースリングは使用しません。純正のプラス配線に付属の赤線を接続します。

※センターボルトの本締め付けが終わっていないのでホーンボタンは装着しないでください。

9、ステアリングの取り付け

ステアリングホイールを**カットリング(ホーンリング)**及び**アースリング**を挟んでボスに取付けてください。モモサイズのホーンボタン(φ50)はカットリングを使用し、ナルディサイズのホーンボタン(φ55)はカットリングを使用しません。

取り付けする社外ステアリングホイールをボス付属のネジで取り付けします。ステアリングの種類により使い分けてください。ネジの締め付けトルクは **676N・cm**です。



10、ボスの本締め付け

純正センターボルトを規定トルクで締め付けて下さい。

締め付けトルクは 30N・mです。

11、ホーンボタンの取り付け

8 で接続したホーン用配線(赤)をホーンボタン裏の端子に接続し、ボスに取り付けて下さい。

2極タイプのホーンボタンの場合はどちらがプラス端子かマイナス端子か確認して接続してください。

12、作業終了

バッテリーのマイナス端子を元に戻し、エンジンをかけて SRS 警告灯が消灯することを確認し、ホーンが鳴ることが確認できれば終了です。

作業終了後、パワーウィンドウとオーディオの復元をしてください。

注: 取外したSRSモジュールは純正ステアリングに取付けた状態でSRS本体を上に向け保管して下さい。

株式会社ワークスベル

株式会社ワークスベル 〒391-0011 長野県茅野市玉川 8507

TEL 0266-79-3761 FAX 0266-79-4706

Email: support@worksbell.co.jp

URL: <http://www.worksbell.co.jp>